

★9 親が不登校の子どもと向き合うためには何が必要か

※紹介する事例はプライバシー保護のため、事実と変えているところがあります。

失敗に学ぶ経験①

親は子どもを追いつめたり、傷つけたりする事を通して「何が大切か」に気づくことがあります。大切なことは、わかったふりをするのではなく、子どもの立場で考えることです。

「子どもを無理矢理に動かすのは無理だから、待たなくては…とわかっているけど難しいです。」と、例会で話してくれる方がいます。それは、心の内の素直な気持ちであると思います。よりそうことが大切だとわかった気になるのではなく、等身大の自分を語っていると思いますし、親であればある意味当然のことだと思います。勿論、待つことが自然にできる方もいると思いますが、多くの方は難しいのではないのでしょうか。

三条さん(仮名)の娘が不登校を始めたのは、小学5年生の時からです。初めは、無理矢理に子どもを学校に連れて行きました。「行きたくない。」と暗い表情の娘を車に乗せて学校に連れて行きました。先生からは「とにかく学校に連れてきて下さい。教室では普通です

から、大丈夫ですよ。」と言われました。(不登校を始めた子どもたちの中には、こうした対応で以前のように元気に登校できるようになる子どもがいますから、学校側の言う気持ちもわからないでもありません。)

ある朝、いつものように子どもの部屋に行くと、娘が押し入れに入って膝を抱えて震えていました。その様子を目の当たりにして「本当にこれで良いのだろうか」と辛くなりました。これほどまでして学校に行く意味があるのだろうかと思われました。

ただ、仲の良い友達はあるし、担任の先生は優しいし、クラスは荒れているようには見えないし…。何が原因で学校に行きたくないのかわかりません。娘に聞いても、はっきりしません。このまま休ませてしまうと、ズルズルと学校に行くことができなくなるのではないかという不安も、もう一方であります。

もう、車に乗せた方が良いのか、休ませた方が良いのかわからなくなったそうです。ただ、震えている娘を見た時に、「甘えているとか弱いとかは違う。この子は苦しんでいる。」と思えました。

三条さんは、「今日は、学校を休んで良いよ。」と声をかけました。すると、娘さんは「だめ、学校に行く。」と言いながら、自分で自分の足を持って動かそうとしました。でも、動きません。「どうして、いつも私は…」と言いな

がら自分の足を拳でたたきました。

その後、娘さんと話をしている、三条さんは初めて子どもの思いを知ることができました。「子どものため」と思ってしていたことが逆に子どもを追いつめていたことに気づきました。その会話は、次号で紹介します。

子どもを動かすことばかりに目を奪われていると、いくら経験を積んでも子どもの気持ちに近づくことはできません。学校に行っただろうかばかりが気になると、子どもの気持ちが見えてきません。

また、逆に「理解のありすぎる親」であっても、それは理解のあるふりをしているだけで、待たれる子どもは安心するどころか自分と向き合うことはできません。大切なことは、どのような経験をするかです。

2017年 1月29日 予定
世話人会 9:30 ~ 12:00
場所：コンパルホール 312 会議室
内容：①今年度の反省 ②研修
③来年度の計画 ④その他

第62回不登校シンポジウム

場所：コンパルホール 視聴覚室
時間：13:00 ~ 16:00
参加費：会員 無料 一般 1,000 円

家が「居場所」となる時

当事者の青年と親たちで率直な質問を投げかけながら、居場所について考えます。長崎の古豊君もパネラーとして参加します。

九州民教研鹿児島大会

日時：2016年12月26日(月)~27日(火)
場所：鹿児島女子短期大学
(鹿児島中央駅から徒歩15分)
内容：記念講演・22の分科会・特別報告

不登校分科会

- 不登校の基礎講座
- ひきこもりの青年の自立について
- 教師の不登校支援の実践報告

詳しい内容が知りたい方や参加希望の方は加嶋までご連絡下さい。要項を郵送します。また、世話人の方が参加される場合は、助成金を申請しているため若干の補助があります。



会場周辺の→(矢印)は一方通行
●駅前通りを駅に向かい伊予銀行を右折。旧国道(645号線)を富士見通りに向かう。富士見通りに入る前の左手にある校門のような入り口から入る。
●富士見通りから高架橋沿いの道路(東側・一方通行)に入る。最初の交差点を右折して直進すると、正面が会場入り口になる。

寄付のお礼 二宮陽子さんより、ご寄付を頂きました。ありがとうございました。

おねがい

原稿をお寄せ下さい

- 感想・体験 ●伝えたい情報
 - その他不登校に関すること
- <メール>toiawase@hoshinokai.net
<FAX> 0972-24-3557

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651
<加入者名> 不登校を考える星の会

1月の例会予定

- 昼の大分例会…都合でお休みです。
- 別府例会…1月7日(土) 19:00~21:30
- 豊後大野例会…1月12日(木) 19:00~21:30
- 津久見例会…1月13日(金) 19:30~21:30
- 湯布院例会…1月26日(木) 19:30~21:30
- 200回記念大分例会…1月29日(日) 13:00~16:00

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

会報発送作業

- 12月22日(木) 14:00~
- ジョイフル米良店
- お尋ねは河野さん (080-5272-9360)まで